

会員のみなさま、いつもご支援ありがとうございます。お元気にお過ごしのことと拝察いたします。

さて、平成29年度は、北摂里山博物館運営協議会の助成金による機材の充実や同協議会主催の『こども探検隊』とのコラボ事業『キノコ観察会』、そして講師派遣応援事業による服部保教授の研修受講など、設立20周年にふさわしい活動ができましたこと、心から関係者のみなさまに感謝申し上げます。

ところで、去る10月1日付けで緑の環境クラブ通信を発行しました直後に、台風21号が日本に襲来し、各地に大きな被害を与えました。みなさまのご記憶にも新しい事と存じますが、ここ三田でも、関西学院大学キャンパスの高木が100本近くなぎ倒れたり、私たちの活動地の有馬富士森林公園でも、おびただしい数のマツやスギ、コナラなどの高木が強風になぎ倒れるという被害に遭いました。そのため今期の活動の後半は、現在に至るまで、その処理に追われています。台風通過直後の様子や後始末に従事する私たちの活動風景などは、以下の写真をご覧ください、わかりやすいかと存じます。松の倒木の幹をチェーンソーで2mくらいの長さに切ってゆき、枝などは、鋸や剪定鋏で処理してゆくという作業を毎回15人から19人の会員有志で行っています。日ごろ保全の対象としているコナラの大木が倒れていたのはとてもショックでしたが、椎茸の植菌をする棺木として、活用することし、処理した松は、市内の陶芸家の窯元に提供するなど、緑の環境クラブのボランティア活動は、三田市の風倒木処理の経費の軽減に大いに寄与しています。

また、嬉しいことに1名のとても元気な新入会員を得ました。そして世話人にも新たに3名の頼もしい世話人が増えるなど、益々今後の活動が楽しみになってまいりました。では、来る4月23日(月)の『緑の環境クラブ』定期総会にて、みなさまとお会いできます事を心から楽しみにいたしております！

2018年3月15日記 代表世話人 北田香菜子

平成29年度下期の活動報告

★里山ふれあい森づくり作業 作業日数 29日 作業延人数 339名 (10/1 ~ 3/31)

三田市立有馬富士森林公園内Dゾーン(9.9ヘクタール)の里山放置林において保全・整備を実施(企業参加 尼崎信用金庫)。平成29年度は、北摂里山博物館運営協議会が推進する「北摂里山魅力づくり助成事業」として、有馬富士森林公園内の対象区域で里山保全整備活動を行ない、今年度の3月31日に終了しました。しかし、特筆すべきは、今年度の10月21日の台風21号の暴風雨の為、公園内の赤松やスギ・コナラの大木がたくさん倒れ、その倒木の撤去作業に多くの作業時間を費やしました。基本的には毎週水・土曜日にクラブメンバーが集まり、現在もその作業は、継続中です。

▲平成30年2月21日の作業日



20名のレギュラーメンバーが集まりました。毎年、数名の積極的な新規加入のメンバーが増え、活発に里山保全整備活動を推進しています。

▲台風21号(10月21日)の倒木被害と復旧作業



◎ 3月14日(水)北摂里山魅力づくり指導会 講師 服部名譽教授 クラブメンバー17名



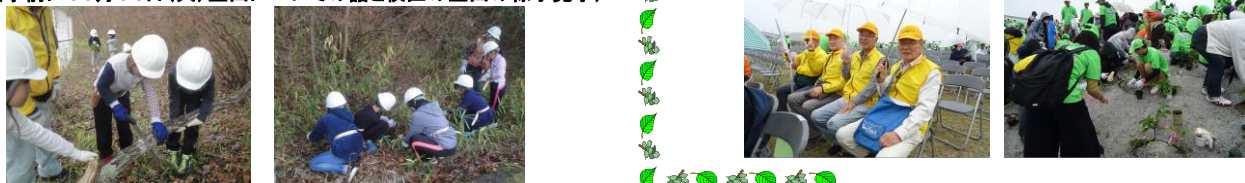
★イベントの開催

- ①10月28日(土) フラワータウン市民センターまつり パザールと電気ペン(電気ペン参加者11名:スタッフ10名)
- ②2月24日(土) シイタケ菌打ち体験会 台風21号のコナラの風倒木をホダ木に活用しました。(参加者30名:スタッフ13名)



★里山体験学習支援

- ①11月28日(火) 松が丘小学校の里山体験学習支援 37名(スタッフ8名) (事前に11月14日(火)里山についての話と校区の里山の様子見学)
- ③10月7日(土) 尼崎信用金庫植樹祭 (スタッフ6名参加)



平成30年度上期の活動予定

- ・ 4月以降 里山保全活動 :有馬富士森林公園及び周辺エリアでの森林整備等 毎週水・土曜日に活動 7・8月は、活動休止
- ・ 4月18日 春を食する会
- ・ 4月21日 春のありまふじフェスティバル 電気ペンの出店
- ・ 4月23日 緑の環境クラブ 第20回定例総会
- ・ 9月未定 きのご観察会